



コスト縮減を配慮した排水機場の設計について

技術基準の種類:設計・施工
通知日:平成9年2月28日

事務連絡
平成9年2月28日

鳥取県 土木担当部長 殿

(建設省)建設経済局 建設機械課 機械施工企画官

(建設省)河川局 治水課 流域治水調整官

コスト縮減を配慮した揚排水機場の設計について

標記については、「揚排水ポンプ設備技術基準」等の関係基準に基づき実施されているところであるが、最近の技術開発等をふまえ、公共工事の建設費のコスト縮減という観点から、今後の設計に当たっては、下記事項に十分留意され実施されたい。

なお、既に設計を終えている物件については、再度設計業務委託を発注してもトータルコストがコスト縮減に繋がる場合は、下記により実施されたい。

記

1. 機械設備

主ポンプ設備

- ・大口径ポンプにおける高流速化技術の導入により、ポンプ本体の小口径化、軽量化を図るものとする。
- ・クローズピット形式における高流速化技術の導入により、吸込水路(吸込ケーシング)の小規模化を図るものとする。

駆動設備

- ・新型ガスタービンの導入により、原動機及び動力伝達装置の小型化、軽量化を図るものとする。

ポンプ据付形式

- ・上記の導入により、ポンプ据付形式を原則として一床式とするものとする。

付属設備

- ・スクリーンの目幅を見直すことにより、除塵機の設備は必要な場合に限るものとする。
- ・天井クレーンを原則廃止し、トラッククレーンにより代替できる構造とするものとする。

小規模ポンプ設備

- ・小規模の固定式の排水機場については、救急内水対策事業で用いている小型ポンプを定置して用いる方式の方が、トータルコストとしてコスト縮減に繋がる場合は、この方式によるものとする。

2. 機場施設

機場本体

- ・ポンプ本体の小口径化、軽量化並びに原動機及び動力伝達装置の小型化、軽量化により、機場本体は小型化に努め、必要最小限の施設とするものとする。

排水樋管等

- ・排水樋管は、コンクリート以外の新素材を用いた樋管等についても検討し、施設の小型化に努めるものとする。なお、樋管施工に際しては、継手部、樋管底部の止水性について十分配慮し対処するものとする。

機場上屋

- ・天井クレーンの廃止に伴い、機場の上屋は原則的に廃止するものとする。なお、ポンプ設備の保護、操作室、制御機器室等は機能確保のために必要な最小限の施設とするものとする。

3. その他

- ・本事務連絡に定めのない事項、あるいは疑義が生じた場合は速やかに協議されたい。